

2015年理学部第1問

 数理
石井K

1 大小2つのサイコロと1枚のコインを同時に投げ、大小のサイコロの目をそれぞれ a, b とする。さらに、コインが表なら $c = 1$ とし、コインが裏なら $c = -1$ とする。このとき、2次方程式

$$x^2 + ax + bc = 0$$

の2つの解を α, β とする。

(1) α と β が実数である確率を求めよ。

(2) α と β が実数であり、かつ $|\alpha| + |\beta|$ が整数である確率を求めよ。

(1) 判別式を D とすると、 $D = a^2 - 4bc$

$$\therefore \alpha \text{ と } \beta \text{ が実数} \iff a^2 - 4bc \geq 0$$

(i) $c = 1$ のとき $a^2 \geq 4b$

$\therefore (a, b) = (2, 1), (3, 1), (3, 2), (4, 1), (4, 2), (4, 3), (4, 4), (5, *), (6, *)$ の19通り

ここで、*は任意のサイコロの目

(ii) $c = -1$ のとき $a^2 + 4b \geq 0$

これは常に成り立つので (a, b) は36通り

$$(i), (ii) \text{ より, } \frac{19+36}{6 \times 6 \times 2} = \frac{55}{72} \text{ ,,}$$

(2) $\alpha \leq \beta$ とすると、 $\alpha = \frac{-a - \sqrt{D}}{2}$, $\beta = \frac{-a + \sqrt{D}}{2}$

$D \geq 0$ のときを考える。

(i) $c = 1$ のとき $D = a^2 - 4b$

$$\therefore \sqrt{D} < a \text{ であるから } |\alpha| + |\beta| = \frac{a + \sqrt{D}}{2} + \frac{a - \sqrt{D}}{2} = a \text{ (整数)}$$

よって、(1)の(i)で求めた19通り

(ii) $c = -1$ のとき $D = a^2 + 4b$

$$\therefore \sqrt{D} > a \text{ であるから, } |\alpha| + |\beta| = \frac{a + \sqrt{D}}{2} + \frac{-a + \sqrt{D}}{2} = \sqrt{D}$$

$$\therefore D \text{ は (整数)}^2 \text{ で, } 1+4 \leq a^2 + 4b \leq 36+24 \therefore 5 \leq D \leq 60 \therefore D = 9, 16, 25, 36, 49$$

各場合を調べると、 $(a, b) = (1, 2), (2, 3), (3, 4), (1, 6), (4, 5), (5, 6)$ の6通り

$$(i), (ii) \text{ より, } \frac{19+6}{6 \times 6 \times 2} = \frac{25}{72} \text{ ,,}$$